

【3学期がスタートしました…】

3学期がスタートしました。最も短い学期ですが、1年間のまとめとして、また次年度につながる学期として、とても重要で意義の深い学期です。

1学期は、学級や学年、生徒会組織などすべてが新たな編成によって始まり手探りしながら日々を過ごし活動を起こし始める、いわば始動の学期でした。2学期は、期間が最も長く三中祭や合唱コンクールなど大きな行事をはじめとして多彩な活動を展開する、いわば飛躍の学期でした。

3学期は、次年度への見通しをもつことが大切で、いわば先見の学期であってほしいと思います。自分の足もとや目の前にあることにとにかかき必死に取り組むことはもちろん大事ですが、さらに、その取組がその先々にどのようにつながっていくのか、どんな効果をもたらしどのくらい向上できるのかなど、取り組む根拠がきちっとあれば、意欲を継続して頑張り続けることができます。‘このようになりたい’とか‘これをやりたい’など、自分の要求や欲求、理想や目標があって、その達成にはこんなアプローチをすればよいという確かな根拠があれば、人は自らの意思で踏み出して進み、頑張り続けることができます。次年度に向け、そのような歩みを進める準備としては3学期がまさに絶好の時期なのです。新年度が始まってしまうと、やはり目先のことに釘付けになりがちで心にゆとりをもてなくなってしまうのが普通なので、今年度と次年度を切れ間なく接続すべきこの3学期こそが、意義の深い大切な学期となるわけです。

3学期は、一人一人落ち着いた気持ちで生活してほしいと思います。それぞれが自身の見通しを次年度に見だし、進級及び進学後の理想の青写真を描いてください。そして、その達成のために冷静に深く考える先見の学期であってください。

【薬物乱用防止教室を行いました…】

12月18日(木)1学年を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。例年行っており、ナルミ医院長を講師としてお招きし講話をいただいています。たばこの害や喫煙による人体に悪影響を与えることなどの禁煙教育やアルコール・薬物の危険性などについてお話を聞きました。一部ご紹介しますので、生徒の皆さんや保護者の皆様に参加にいただければと思います。

たばこについて

- ・たばこは肺がんなどの大病を引き起こすリスクが高く、吸っている人は吸わない人より寿命が10年短い。若ければ若いほど進行は早い。1本吸えば5分30秒寿命が縮まるとのデータもある。
- ・全国の喫煙率について、青森県は男性が1位で女性が2位、総合2位である。
- ・全国の平均寿命は、青森県が最も短く、最も長いのは長野県である。青森県は食生活も原因の一つだと考えられるが、短命県返上のためにはまず禁煙を広めていきたい。

アルコールについて

- ・全国の一人当たりの飲酒量は、青森県の男性が1位となっている。
- ・子どもは酒の分解が十分に機能しない。若いうちから飲酒するとアルコール依存症になりやすく、脳の機能低下も起こしやすい。
- ・未成年の飲酒は法律で禁止されている。

薬物について

- ・覚せい剤は違法で1回だけでもアウト。
- ・依存症に陥りやすく、その依存性はとても強い。近年、甚大な事故も起きている。薬物は人生を不幸にしてしまう。

鳴海先生は、最後に、「落とし穴にはまることなく今の世の中を生きるためには**〈正しい知識をもち、自分で考えて、自分で判断する〉**ことが大切です。」と述べておられました。